

# 2019年3月期 決算説明資料

The logo consists of a blue square with the white text "MS&C" inside.

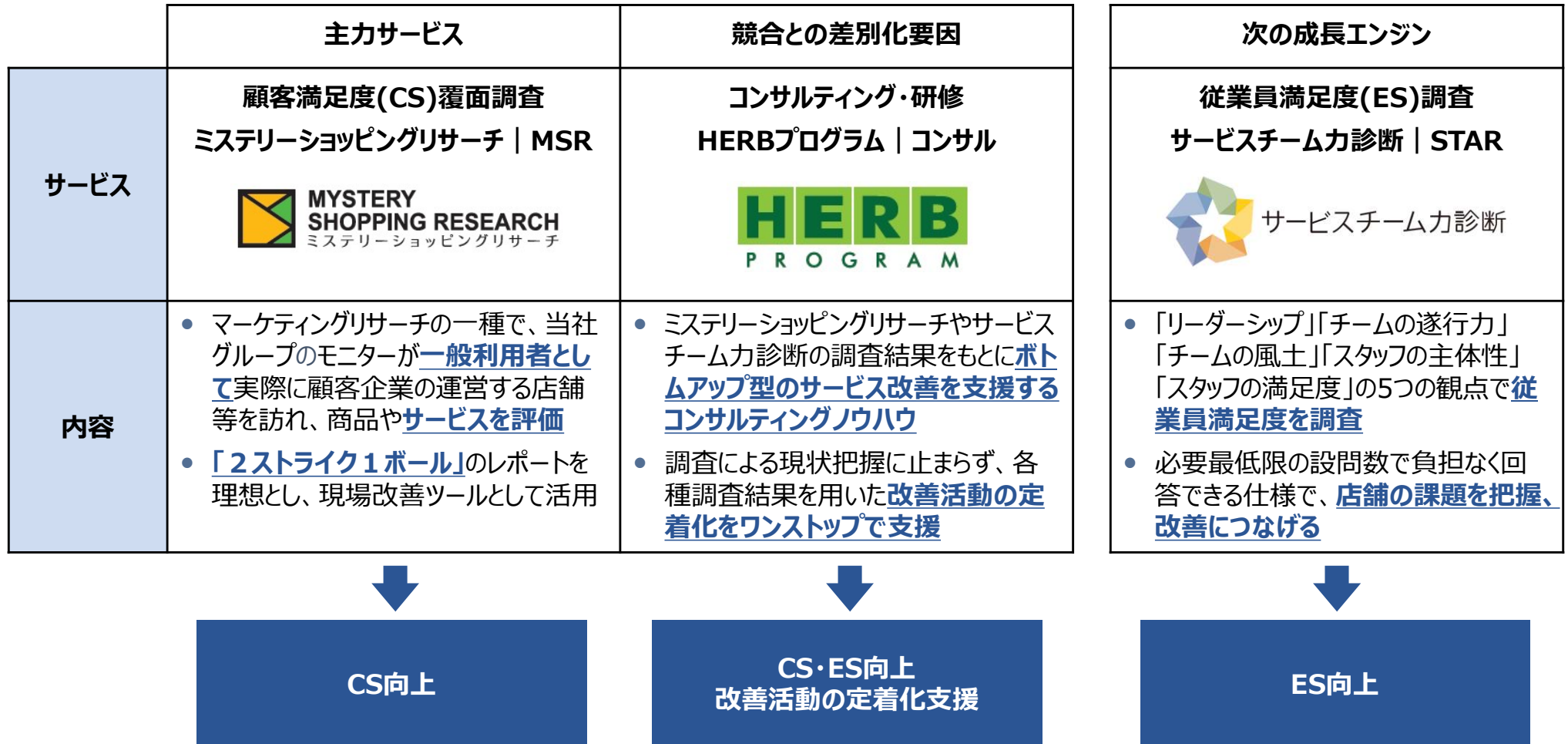
株式会社 MS & Consulting

1. 事業の概要	2
2. 2019年3月期の決算状況	6
3. 事業の現況	14
4. 2020年3月期の業績予想	17

# 1. 事業の概要

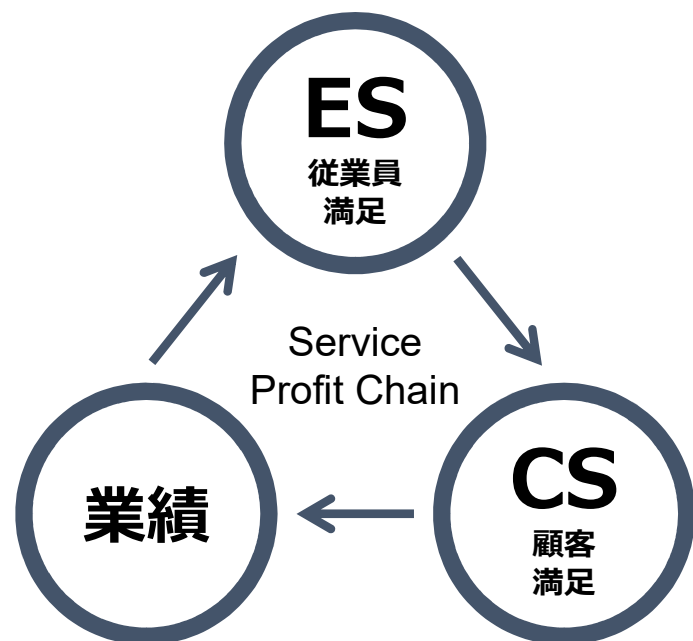
---

<b>商号</b>	株式会社MS&Consulting（以下「MS&C」）
<b>事業</b>	一般消費者モニターを活用したリサーチ業務及び外食・サービス・小売業界を中心とした経営コンサルティングに関する業務
<b>設立日</b>	2008年5月16日
<b>本社所在地</b>	東京都中央区日本橋小伝馬町4-9小伝馬町新日本橋ビルディング
<b>代表者</b>	並木 昭憲（代表取締役社長）
<b>資本金</b>	583,353千円（2019年3月末日現在）
<b>従業員数</b>	129名（アルバイト・パート除く、2019年3月末日現在）



✓ 当社は、MSR、STAR及びコンサルの提供により、顧客企業が提供しているサービスの高品質化・高付加価値化を支援しています。

## ビジョン | 顧客企業のサービスプロフィットチェーン経営の実現



### ■ 当社の主要サービス



for CS

for CS/ES

for ES



## 経営理念 | 精神的に豊かな社会の創造

- ✓ SPCとは、顧客満足度の向上・従業員満足度の向上・業績の向上が互いに結びついており、好循環サイクルを実現することを指しています。当社は顧客企業がSPCを実現することを通して、経営理念である「精神的に豊かな社会の創造」を目指しています。

## 2. 2019年3月期の決算状況

---

# 連結P/Lサマリー(前期比)

(単位：百万円)

	2019年3月期 連結会計年度 (実績)	2018年3月期 連結会計年度 (実績)	前期差異	前期比
売上収益	2,860	2,811	49	1.7%
営業利益	564	553	11	1.9%
税引前利益	563	552	11	2.0%
当期利益	391	359	32	9.0%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	396	367	29	7.9%

- ✓ 組織再編（ファンド間の株主異動）のあった2014年3月期以降、5期連続の増収増益
  - 国内におけるミステリーショッピングリサーチ事業(以下、MSR事業)の売上収益は2,790百万円(前期比56百万円増、同2.0%増)  
内、サービスチーム力診断(以下、STAR)の売上収益は88百万(前期比53百万円増、同153.5%増)

注：MSR事業には、ミステリーショッピングリサーチ(以下、MSR)に付随したコンサルティング・研修(以下、コンサル)を含む



## 連結P/Lサマリー(予想達成率)

(単位：百万円)

	2019年3月期 連結会計年度 (実績)	2019年3月期 連結会計年度 (予想)	予想 差異	予想 達成率
売上収益	2,860	2,988	△ 129	95.7%
営業利益	564	608	△ 45	92.6%
税引前利益	563	608	△ 45	92.6%
当期利益	391	404	△ 13	96.9%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	396	405	△ 9	97.8%

- ✓ 売上収益・営業利益ともにMSRが想定に届かず業績予想を下回る
- ✓ 親会社の所有者に帰属する当期利益は前期計上額の調整に伴う法人税の減少により業績予想をわずかに下回る

# 連結P/Lサマリー(国内における売上収益の内訳)

(単位：百万円)

	2019年3月期 連結会計年度 (実績)	2018年3月期 連結会計年度 (実績)	前期差異	前期比
売上収益	2,835	2,799	37	1.3%
MSR事業の売上収益	2,790	2,734	56	2.0%
(内、MSR)	2,432	2,454	△ 23	-0.9%
(内、コンサル)	359	280	79	28.0%
(内、STAR、カスタマーリサーチ)	94	39	55	141.9%
その他の売上収益	45	64	△ 19	-29.9%
売上総利益	1,245	1,206	39	3.2%
<売上総利益率>	43.9%	43.1%	0.8%	-
MSR調査数	23.5万回	23.2万回	0.2万回	0.9%
STAR調査店舗数	2.0万店	1.2万店	0.7万店	58.2%

## ✓ MSRは前期比微減

- ぐるなび社との連携が着実に進展
- 地震や豪雨による中止・後倒しが発生した上期の影響が残る中、4Qでも一部案件で実施時期の後倒しが発生

## ✓ MSRの活用を総合的にサポートするためのコンサルは前期比大幅増

- 人手不足の深刻化や働き方改革の要請により、ES関連ニーズが拡大、STARの調査店舗数や収益化が大幅に伸展し、それに準じたコンサルも増加

# 連結P/Lサマリー(段階利益内訳)

(単位：百万円)

	2019年3月期 連結会計年度 (実績)	2018年3月期 連結会計年度 (実績)	対売上収益	前期比
売上収益	2,860	2,811	100.0%	1.7%
売上原価	1,607	1,605	56.2%	0.2%
売上総利益	1,253	1,206	43.8%	3.9%
販管費	681	655	23.8%	3.9%
その他の収益	23	11	0.8%	102.4%
その他の費用	32	9	1.1%	232.4%
営業利益	564	553	19.7%	1.9%
EBITDA	588	579	20.5%	1.6%
金融収益	0	0	0.0%	3.1%
金融費用	1	1	0.0%	-48.5%
税引前利益	563	552	19.7%	2.0%
当期利益	391	359	13.7%	9.0%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	396	367	13.8%	7.9%

✓ 販管費は前期比3.9%増にとどまる

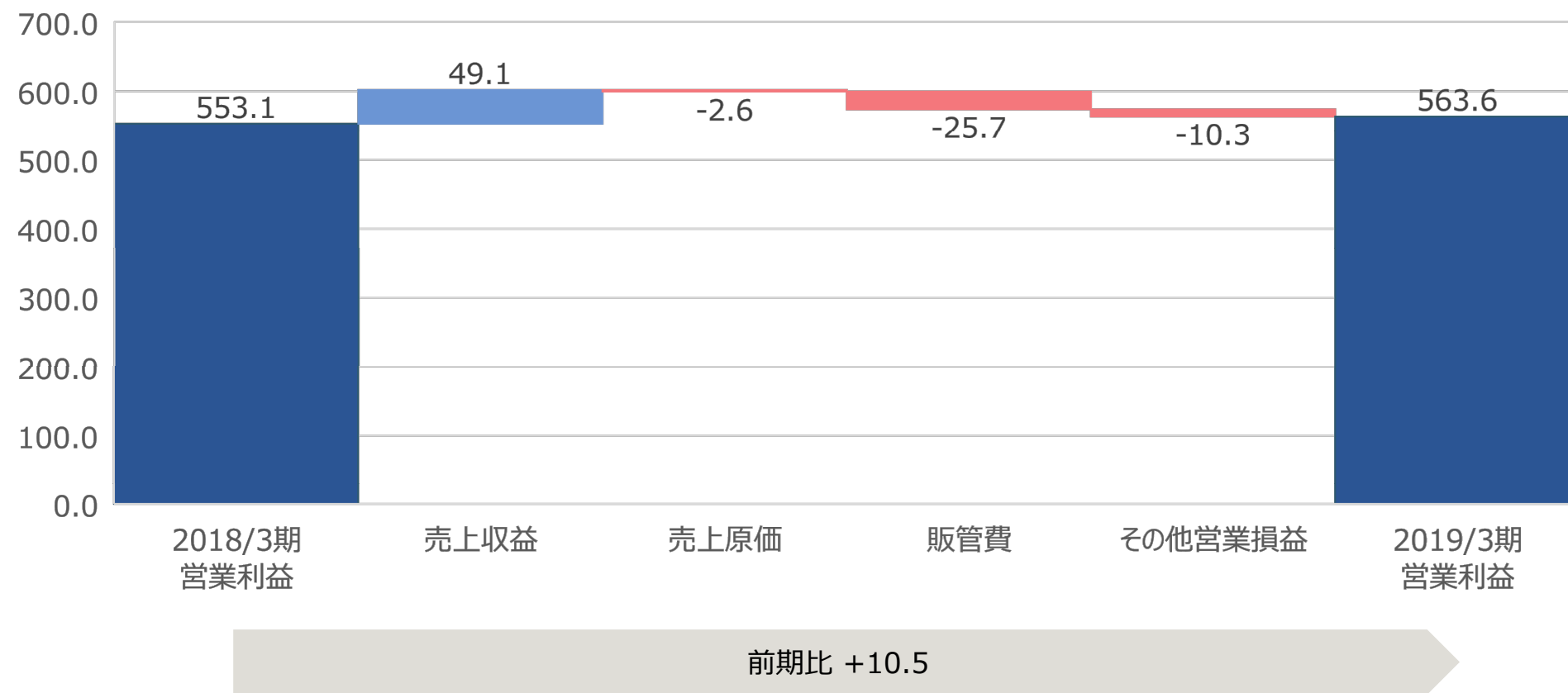
- 旅費交通費、株主総会費用、システムセキュリティ強化費用等が増加、各種費用のコストダウンを実施

✓ その他の営業収益および費用増

- サイバーリスク保険からの保険金受取で、その他の営業収益が増加
- 市場変更に伴う上場一時費用および不正アクセス被害対応費用で、その他営業費用が増加

# 連結P/Lサマリー(段階利益内訳)

(単位：百万円)



資 産	(単位：百万円)		負債及び資本	(単位：百万円)	
	2018年3月期 連結会計年度 (2018年3月31日)	2019年3月期 連結会計年度 (2019年3月31日)		2018年3月期 連結会計年度 (2018年3月31日)	2019年3月期 連結会計年度 (2019年3月31日)
現金及び現金同等物	627	<b>815</b>	借入金	95	<b>58</b>
営業債権及びその他の債権	756	<b>840</b>	営業債務及びその他の債務	453	<b>553</b>
棚卸資産	3	<b>1</b>	未払法人所得税等	118	<b>104</b>
その他の流動資産	33	<b>40</b>	引当金	7	<b>9</b>
流動資産合計	1,419	<b>1,695</b>	その他の流動負債	25	<b>21</b>
有形固定資産	28	<b>41</b>	流動負債合計	697	<b>745</b>
のれん	2,224	<b>2,224</b>	借入金	75	<b>17</b>
その他の無形資産	36	<b>68</b>	引当金	14	<b>17</b>
その他の金融資産	41	<b>49</b>	非流動負債合計	89	<b>34</b>
繰延税金資産	19	<b>19</b>	負債合計	786	<b>779</b>
非流動資産合計	2,348	<b>2,401</b>	資本金	570	<b>583</b>
資産合計	3,768	<b>4,097</b>	資本剰余金	1,905	<b>1,918</b>
			その他の資本の構成要素	-13	<b>-13</b>
			利益剰余金	534	<b>849</b>
			親会社の所有者に 帰属する持分合計	2,997	<b>3,337</b>
			非支配持分	-15	<b>-20</b>
			資本合計	2,982	<b>3,317</b>
			負債及び資本合計	3,768	<b>4,097</b>

✓ 新株予約権の行使に伴い、資本金及び資本剰余金が増加

(単位：百万円)

	2018年3月期 連結会計年度 (実績)	2019年3月期 連結会計年度 (実績)	前期差異	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	171	<b>411</b>	240	140.8%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 22	△ <b>74</b>	△ 53	246.0%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 541	△ <b>150</b>	391	-72.3%
現金及び現金同等物の 四半期末残高	627	<b>815</b>	187	29.9%

- ✓ 営業活動によるキャッシュフローは、法人税等の支払を含む
- ✓ 投資活動によるキャッシュフローは、システムセキュリティ強化のための設備投資、システム開発によって支出が発生
- ✓ 財務活動によるキャッシュフローは、株式の発行による収入、借入金の約定返済、配当金の支払による支出が発生

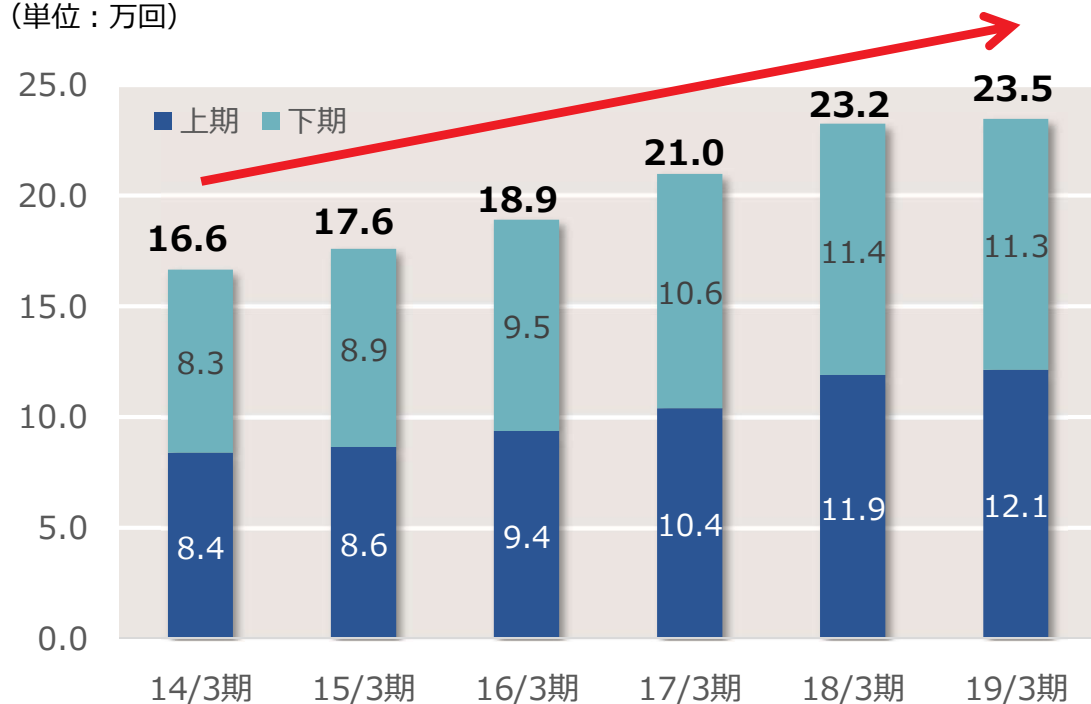
## 3. 事業の現況

---

# ミステリーショッピングリサーチ | 調査数の推移

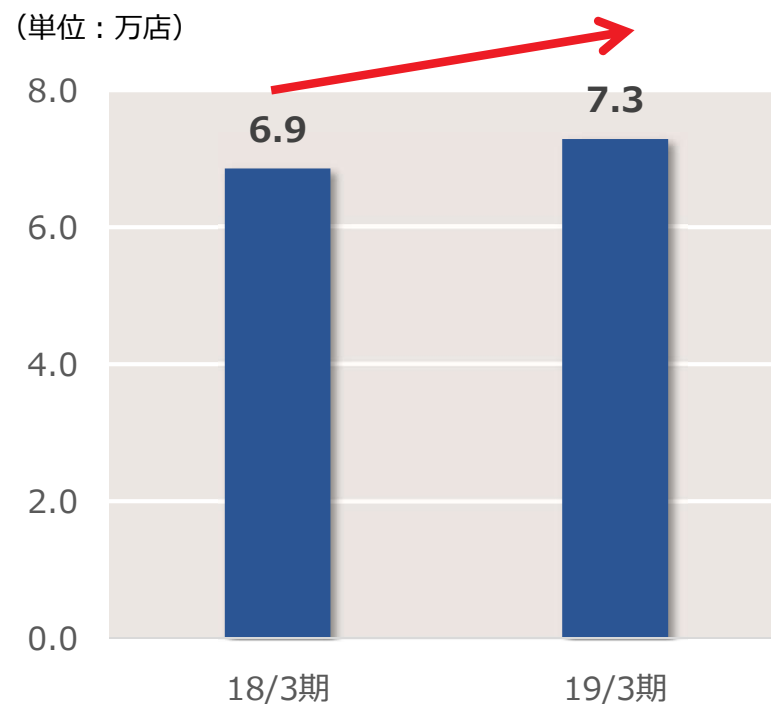
## ミステリーショッピングリサーチ調査数の推移

(単位：万回)



## ミステリーショッピングリサーチ調査店舗数の推移

(単位：万店)



- ✓ 国内におけるMSRの調査数は、**23.5万回**の実績
- ✓ 国内におけるMSRの調査店舗数は、**7.3万店**の実績
- ✓ 国内におけるMSRのモニター数は、前期末から**3.2万人**の大幅増加、**47万人**へ

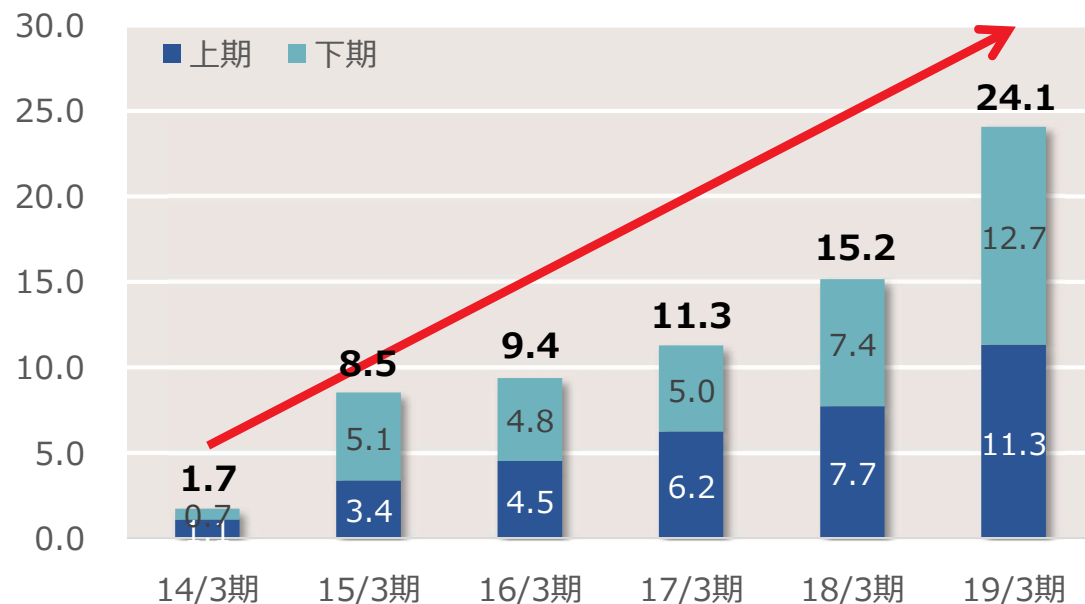
注：ミステリーショッピングリサーチの調査数は延べ数、調査店舗数はユニーク数



# サービスチーム力診断 | 調査数の推移

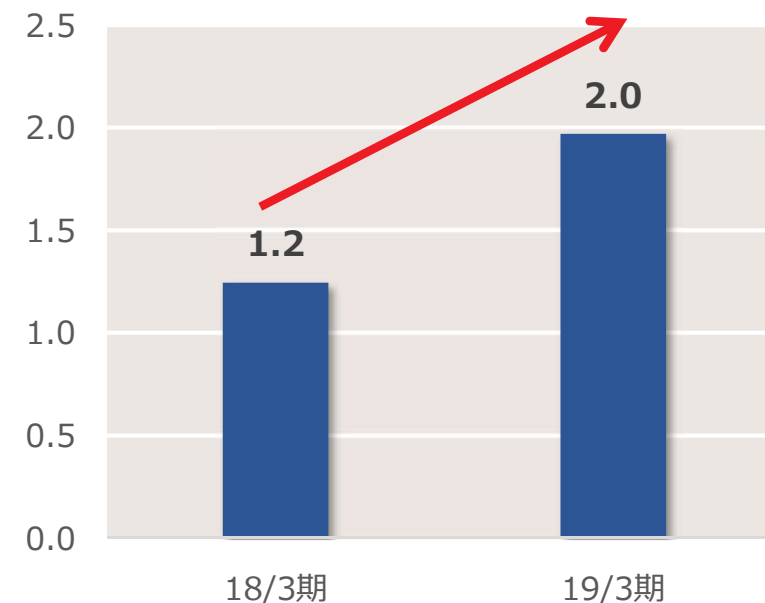
## サービスチーム力診断調査数の推移

(単位：万人)



## サービスチーム力診断調査店舗数の推移

(単位：万店)



- ✓ 国内におけるサービスチーム力診断の調査数は、**24.1万人**の実績
- ✓ 国内におけるサービスチーム力診断の調査店舗数は、**2.0万店**の実績

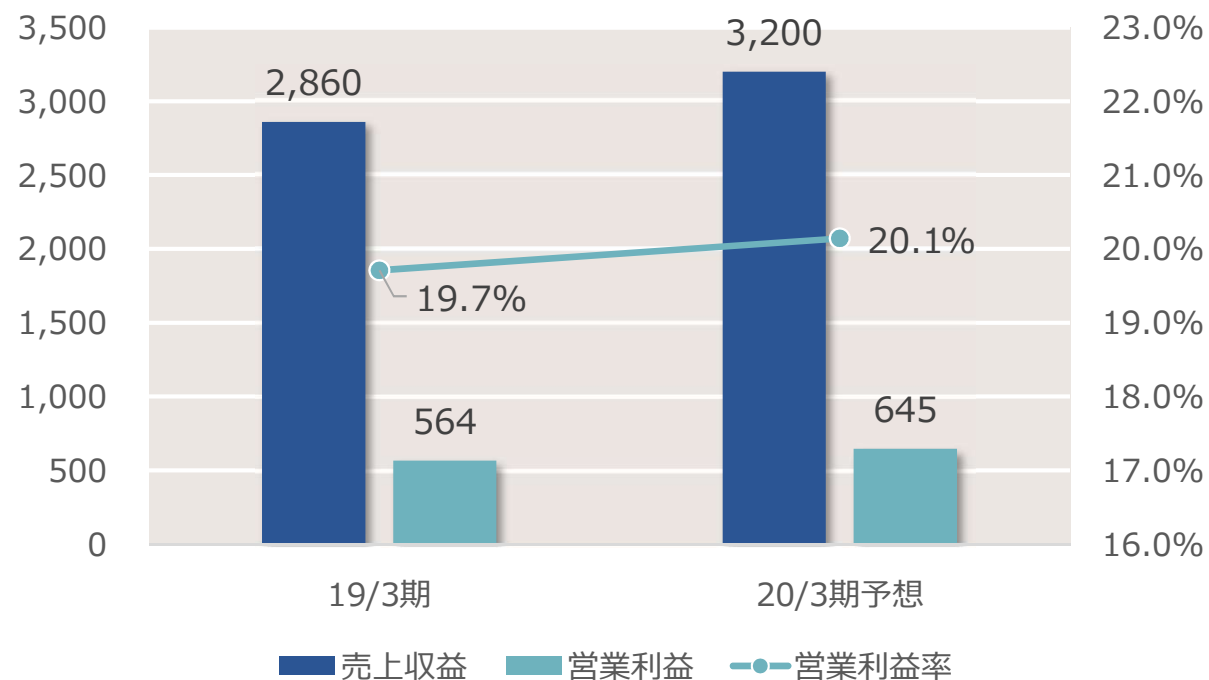
注：サービスチーム力診断の調査数並びに調査店舗数は、ともに延べ数

## 4. 2020年3月期の業績予想

---

## 連結業績推移

(単位：百万円)

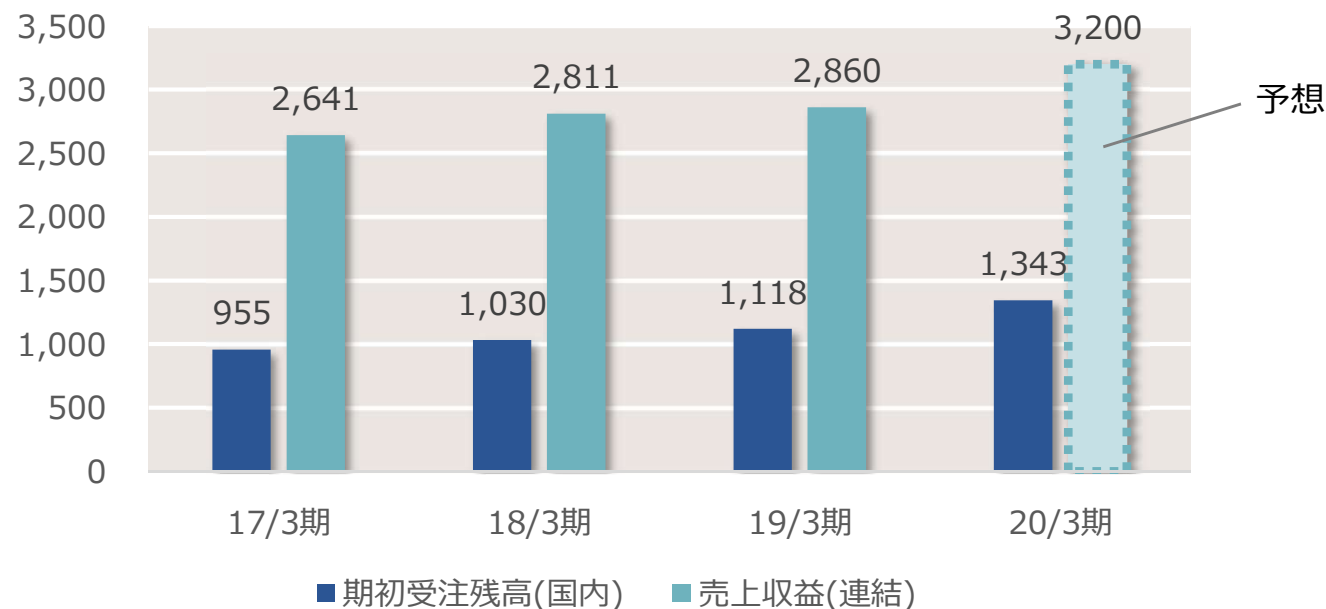


### ✓ 売上収益・営業利益ともに二桁成長を目指す

- 売上収益は前期比11.9%増、営業利益は前期比14.4%増を見込む
- 第4四半期連結会計期間に高くなるという季節変動性も織り込む

## 国内における期初受注残高及び売上収益(連結)

(単位：百万円)



### ✓ 2020年3月期初受注残高は大幅増

- 受注活動が想定通りに推移、前述した一部案件の実施時期後倒しも影響
- 国内における2020年3月期の期初受注残高は1,343百万円(前期比224百万円増、同20.1%増)内、MSR分は1,189百万円(前期比149百万円増、同14.3%増)
- 2020年3月期業績予想に対する売上収益の充足率は42.0%

## ● 配当の基本方針

- ✓ 当社の利益配分につきましては、株主の皆様に対する安定的かつ継続的な利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けた上で、将来の事業の発展と経営基盤の強化のための内部留保の充実と経営成績等を勘案し、IFRSベースの配当性向20%、日本基準（単体）ベースの配当性向30%を目安として、配当を実施することを基本方針としております。

## ● 今期の配当予想

- ✓ 上記の基本方針に基づき、2019年3月期の期末配当は1株当たり18.0円を予定しております。  
（注）2019年5月下旬に開催予定の当社取締役会の決議をもって正式に決定・実施となります。
- ✓ 2020年3月期の期末配当予想は1株当たり18.5円としております。

## 免責事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的として、株式会社MS&Consulting（以下「当社」という。）が作成したものであり、いかなる有価証券の売買の勧誘を目的したものではありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しておりますが、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っており、またこれを保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の責任とご判断においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

## 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。